

名古屋港金城ふ頭岸壁築造工事に伴う中継ポンプ台船移設のお知らせ

名古屋港金城ふ頭岸壁築造工事に伴い、金城ふ頭地区において、以下のとおり、中継ポンプ台船の曳航及び係留等に係る作業が実施されます。東航路、北航路及び付近海域を航行する船舶は十分ご注意のうえ、ご協力をお願いします。

1. 工事作業の期間及び時間

1) 期間及び工程

- ① 期間：令和5年1月28日～令和5年3月6日（予備日を含む）
- ② 工程：中継ポンプ台船移設実施日：令和5年2月26日（予備日2月27日） —— 海上工事

工種別	令和4年		令和5年								適用		
	12月		1月		2月		3月		4月				
	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20			
グラブ床掘・土運船運搬					29	3							
基礎捨石					4								
シンカーブロック製作・設置					6	11							
中継ポンプ台船移設							26						
海上排砂管設置							27						
灯浮標設置								3					
揚土									6				清龍丸

2) 時間

日出から日没まで（中継ポンプ台船曳航時間帯：10時から3時間程度（予定））

2. 工事作業の概要（図1～図6参照）

- ① 金城ふ頭前面の中継ポンプ台船（輝龍）の係留場所で、シンカーブロック設置のためのスパッド式グラブ浚渫船による床掘、また床掘完了後起重機船（120t吊級・スパッド式）を使用して基礎捨石投入作業を行います。また、シンカーブロックの据付は、起重機船（500t吊級・スパッド式）1隻を使用します。なお、床掘土砂は、土運船を使用し、第1ポートアイランド西側の土捨場まで運搬します。（日最大2隻）
- ② 中継ポンプ台船は、船首側に主曳船（1500～2000ps）船尾側に補助曳船（800～1000ps）にて名古屋港第1ポートアイランドから金城ふ頭まで曳航します。中継ポンプ台船の係留場所への移設後、起重機船（100t吊級・スパッド式）にて係留チェーンを船首側、船尾側の順で取付けます。

3. 安全対策

3-1 警戒船の配備

1) 床掘・シンカーブロック据付等（図3・図5参照）

- ① 作業船の至近海域に国際VHFを装備した警戒船1隻を配備し、一般船舶に対し、工事作業船への異常接近防止の注意喚起、工事作業船の誘導等を行います。
- ② 土運船の運航時には、国際VHFを装備した警戒船を1隻配備します。

2) 中継ポンプ台船の曳航（図4参照）

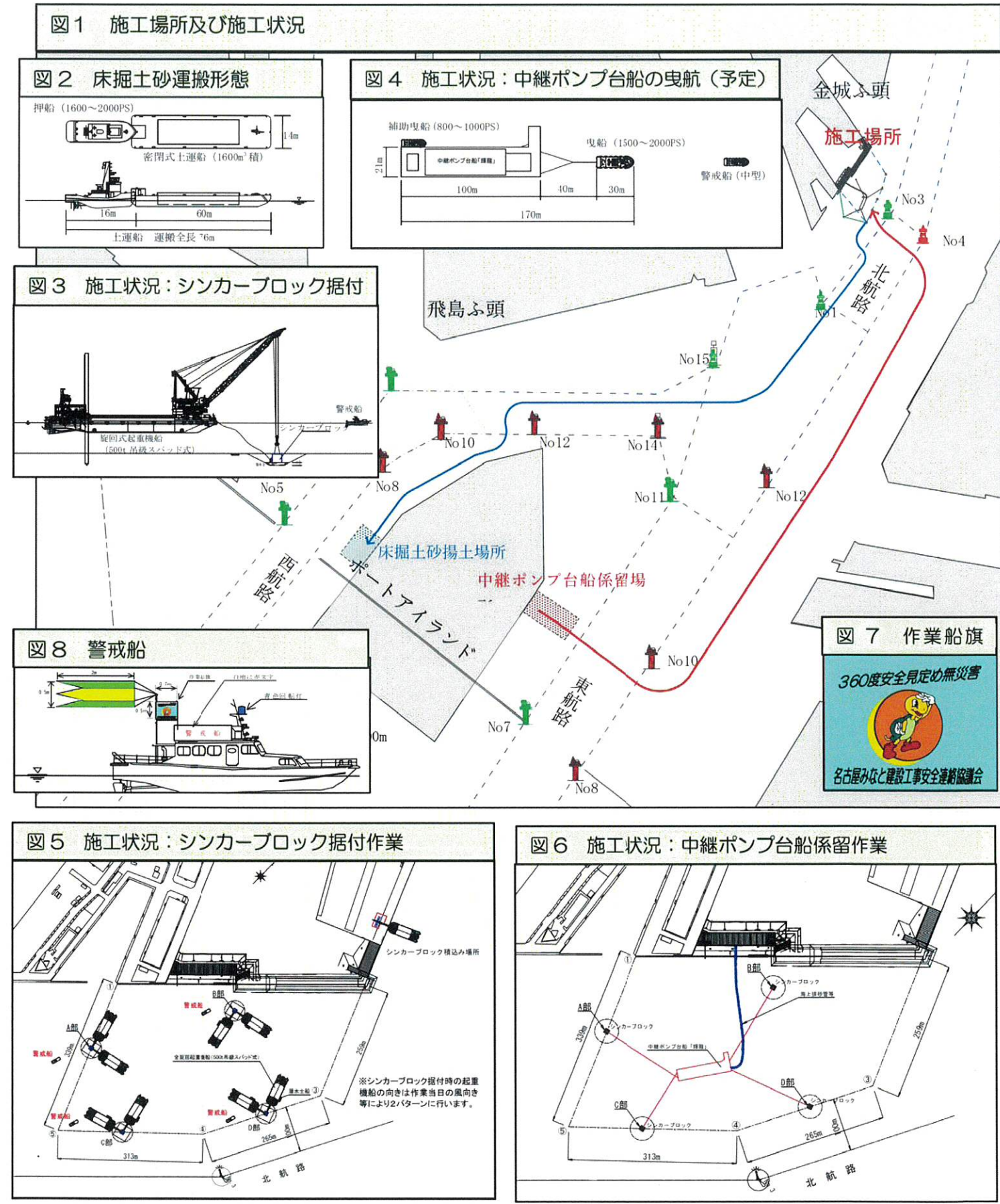
曳航時には、警戒船（中型）を曳船前方に1隻、第1ポートアイランド東側から金城ふ頭の係留場所まで配備します。

3-2 工事作業船の運航

工事作業船の運搬に際しては、朝夕のラッシュ時間帯を避け、航行経路付近及び工事区域至近を航行する一般船舶に支障のないよう運航調整を行います。

4. その他（図7、図8参照）

警戒船を含む工事作業船は、作業船旗を掲げます。



工事作業に関する問合せ先

国土交通省中部地方整備局名古屋港湾事務所	TEL：052-651-6594/FAX：052-651-6287
名古屋みなと建設工事安全連絡協議会	TEL：0567-68-5628/FAX：0567-68-5629
りんかい日産建設株式会社名古屋支店名古屋港作業所	TEL：0567-31-6085/FAX：0567-31-6086